

太陽の光で製版する

製版機での露光に対して、日光で製版すると

いいこと

- ◎ 製版機が不要。
- ◎ 適正な露光時間が「露光センサー」により、測れる。

困ること

- ◎ 夜間やビルの中などなど、太陽が出ていない所では作業ができない。

資材と用具


準備する資材と道具（弊社の取り扱い商品）


- ◎ スクリーンを張って乳剤を塗った版枠
- ◎ 露光センサー
- ◎ 露光セット（透明アクリル板、黒い画用紙、クリップ）
- （感光セットがない場合 ◎ 製版フィルムとブラックシート）


お手持ちのもの、またはホームセンターなどでお求めいただくもの

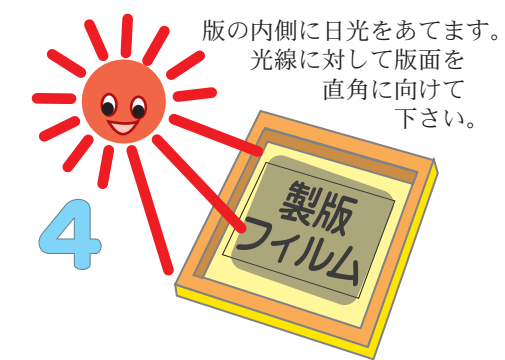
- ◎ 粘着性スプレー糊

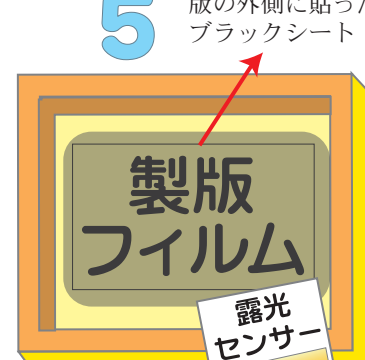
露光センサーの使い方


- 

1 製版フィルムの裏に粘着性スプレーを吹きつけます。
- 

2 版の内側に製版フィルムを貼って下さい。
- 

3 版の外側にブラックシートを貼ります。
- 

4 版の内側に日光をあてます。光線に対して版面を直角に向けて下さい。
- 

5 版の外側に貼ったブラックシート
- 

6 露光が終わったら、屋内でブラックシートや製版フィルムをはがします。

「露光センサー」で適正な露光時間を計測しながら露光します。

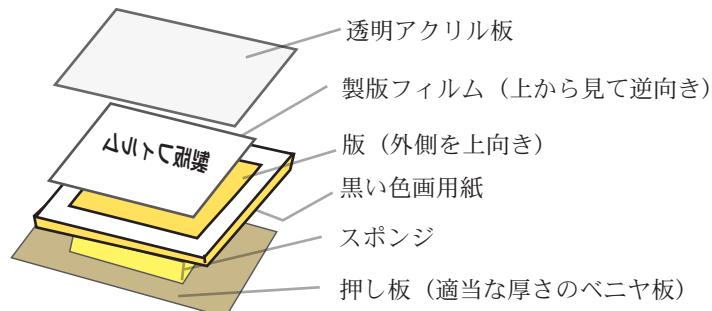
次の工程「水洗い」へ

露光時間は直射日光なら30～60秒、あっという間です。そんな時は手に持ったままでOKです。雨天の時は約1時間かかります。場所の設定をしておいてください。

上記の方法とは違う、道具を使った簡単な露光セット

用意するもの

- ◎ 透明アクリル板（版より少し大きいサイズ、厚さ2～5mm）
- ◎ ベニヤ板（押しつけても反らない厚さ）
- ◎ スポンジ（版の枠より厚いもの、版の枠にスッポリと入るサイズ）
- ◎ 黒い画用紙（製版する図柄より少し大きなサイズ）
- ◎ 以上をはさんで締め付ける物（クリップ、輪ゴム、マジックテープなど）



露光

